

科目	野菜
----	----

担当者名 生産科学科 小西 由真・二宮 浩

教科	農業	単位数	2	学科・学年	生産科学科 3年
使用教科書	野菜 実教出版			副教材等	なし
授業の概要	野菜栽培に必要な知識と技術を学びます。また野菜の特性や栽培に適した環境について理解し、品質と生産性の向上を図る能力と態度を身に付けます。			学習の目標	① 野菜の生理や生態、栽培環境の知識を身に付けます。 ② 苗の生産技術について、その知識や技術を身に付けます。
学習内容				評価の観点・評価方法等（※学期ごとに下記の項目で評価します。）	
1学期	第4章 果実を利用する野菜の栽培 6 ナス (1) 栽培上の特性 (2) 経営上の特性 (3) 作型と品種の選び方 (4) 栽培管理 (5) 商品価値を高める技術 7 ピーマン (1) 栽培上の特性 (2) 経営上の特性 (3) 作型と品種の選び方 (4) 栽培管理 (5) 商品価値を高める技術 (6) 栽培の評価			関心・意欲・態度	【趣旨】 授業に関心を持ち、意欲的に取り組むことができているのかを確認します。 【評価方法】 服装・出席・提出物・授業態度などから評価します。  【割合】 30%
2学期	第4章 果実を利用する野菜の栽培 8 イチゴ (1) 栽培上の特性 (2) 経営上の特性 (3) 作型と品種の選び方 (4) 栽培管理 第5章 葉や花茎を利用する野菜の栽培 1 キャベツ (1) 栽培上の特性 (2) 経営上の特性 (3) 作型と品種の選び方 (4) 栽培管理 第6章 根を利用する野菜の栽培 (1) 栽培上の特性 (2) 経営上の特性 (3) 作型と品種の選び方 (4) 栽培管理 (5) 商品価値を高める技術 (6) 栽培の評価			思考・判断・表現	【趣旨】 自ら考え判断し、それを自分の言葉で表現できるのかを確認します。  【評価方法】 発問に対する解答や作業学習によって評価します。  【割合】 20%
				技	【趣旨】 実習等を通して技術を身に付けることができたのかを確認します。  【評価方法】 実習や課題によって評価します。  【割合】 20%
3学期	第7章 野菜の流通と経営改善 3 野菜の育苗 (1) 育苗の重要性と方式 (2) 育苗技術の実際と応用 (3) 育苗技術の環境と生育調節			知識・理解	【趣旨】 確実に知識を身に付けることができたのかを確認します。  【評価方法】 定期考査で評価します。  【割合】 30%
				その他	学年末の評価は、1、2、3学期の評価を総合して行います。
課題提出物等	① 定期的にノートを提出します。 ② 考査後考査問題の訂正と反省をノートにまとめ提出します。 ① 夏休みの課題として、トマトの栽培プロジェクトのレポートを提出します。 ② 冬休みの課題として、キャベツの栽培プロジェクトのレポートを提出します。				
担当者より	① 授業は、座学と実習があります。 ② 座学では、分からないところは積極的に質問しましょう。 ③ 実習では、ノートに作業内容や使った道具、感想などを細かく記録しておきましょう。				